



つなぐ

市内22の中学校区ごとに「地域青少年育成会議」があり、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に学校や地域の団体等と連携しながら、子どもたちの健全育成や地域コミュニティの活性化のため、様々な活動を行っています。

こんな活動をしています！～地域の特徴に応じた活動の一部を紹介！！～

名立の子どもを守り育む会



5月20日(木)に第1回目の名立中学校地域貢献活動が実施され、シーサイドパーク名立の花壇づくりや除草作業、案内看板の設置などの整備活動が行われました。

この活動は、生徒会が「地域のために自分たちができることはないか、地域に恩返しできることはないか」という気持ちを継承しながら長年、行われているものです。

当日は、名立の子どもを守り育む会のメンバーも参加し、防草シートの敷き方や花壇の植栽方法などを生徒に教えながら、協力して作業を進めました。

直江津東地域青少年育成会議

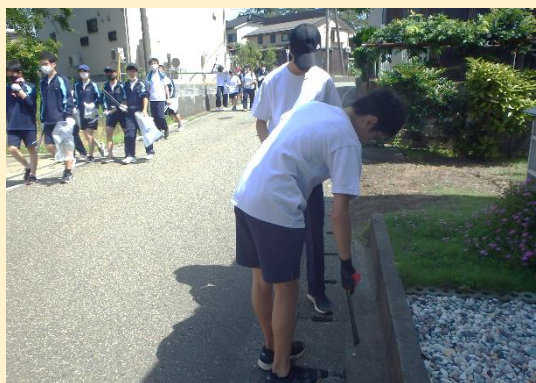
6月15日(火)に保倉小学校の自然教室(会場:国立妙高青少年自然の家)が行われ、地域コーディネーターがボランティア活動として参加しました。

午前9時30分から午後1時まで行われたオリエンテーリングでは、15か所に設置されたチェックポイントを児童と一緒に探し歩きながら、危険のないよう見守り活動を行いました。

その後、館内での「ネームタック作り」では、直径約5cmの輪切りの木にオリエンテーリングで拾った葉っぱを貼り、絵や文字を書く名札作りを児童と一緒に楽しみました。



大潟の子どもを育てる会



5月18日(火)と6月29日(火)に「地域青少年まちづくりワークショップ」を開催し、中学生の代表者6名と今年の活動内容について意見交換を行いました。

その結果、「魅力ある大潟区をもっときれいにしたい!」との思いから、中学2年生全体でクリーン作戦を行うことになり、7月16日(金)に「大潟中学校から鵜の浜人魚館までの道路のごみ拾い」と「鵜の浜人魚館敷地内の雑草の集積作業」を行いました。当日は、地域コーディネーター3人も参加し、中学生とともに汗を流しました。

地域コーディネーターは地域の活動をつなぎます

地域コーディネーターは、地域の子どもたちの健全育成のための活動を円滑に進めるため、地域内の連絡・調整を行うパイプ役を担います。コーディネーター委員会では、各種研修会を通じて、市内のコーディネーター同士の横のつながりを強化することや、意見交換の場を提供しています。

■ コーディネーター研修会 (5月19日開催)



Zoomによるリモート会議の様子(PC画面)

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Zoomによるリモート開催となりました。

地域青少年育成会議からは30人が各中学校で受講し、育成会議の役割や学校と地域が連携することの大切さについて理解を深めました。

■ 新任コーディネーター研修会 (7月8日開催)



概ね2年以内の地域コーディネーターを対象に、先輩コーディネーターからの活動紹介や、グループに分かれての意見交換を実施しました。参加者からは、「他地域の活動の様子を聞くことができ、今後の参考になった」などの感想がありました。

中郷区さとまる学校が設立されました

子どもたちの郷土愛を育もうと、中郷区で住民が運営する「さとまる学校」が今年4月に設立されました。

「自己有用感」を合言葉に、保育園・小学校・中学校と連携して、子どもたちが地域の行事に参画したり、総合学習やクラブ活動・講座に地域の先生を紹介したり、高齢者との関わりも大切に活動を行っています。



地域青少年育成会議の活動に興味がある方はこちらまで！

上越市教育委員会社会教育課

TEL:025-545-9245

E-mail:keniku@city.joetsu.lg.jp

市ホームページで育成会議の活動を
紹介しています。⇒



編集後記

コーディネーター委員会 広報部 大塚 啓二、関川 信之、山口 信幸、松内 利絵子、山川 春男、村本 亜紀子、山本 茂、高橋 良曉

平成21年5月に設立した上越市地域青少年育成会議協議会は、今年度で設立から12年を経過しました。

長引くコロナ禍の影響で、各育成会では活動に苦慮されているようです。そんな状況下で、あらためて地域で子どもを育てる意義と難しさを再認識しています。この「つなぐ」が互いの活動の成果と課題を共有し、地域連携による実践力向上の一助となれば幸いです。